

# 途 上



題字：副校長 文責：教頭

本日、卒業証書授与式、ならびに離任式が行われ、令和2年度の幕が下ろされました。昨日行われた後期終業式での、小池副校長先生のお話をお伝えします。

\*\*\*\*\*

## 『ヤマグワの落葉』 ～小池副校長先生から～

（3月16日 後期終業式）

皆さん おはようございます。

まず最初に、先週行われた「六年生に感謝する会」についてですが、5年生を中心に本当に心温まる、心と心が通い合うすてきな会を開いてくれたこと、ありがとうございました。6年生の皆さんにとっても春を感じる陽気の中、全校が一同に会して「虹」を歌い、思い出深い一日になったのではないのでしょうか。

不思議なできごとにてであった。12月1日、その日の朝は、学校の空に満月がかかる朝だった。

風もないのにブランコのそばのヤマグワの葉がはらはらと落ち続けた。「黄色い雪だ」と言った子がいた。風は全くない。木登りをしている子がいるけれど、ゆすつたのでもない。ヤギの優ちゃんが来たけれど、ゆすつてはいない。優ちゃんはおいしそうに落ちたヤマグワの葉を食べていた。はらはらと葉は落ち続けて、やがて、だいたいの葉っぱが落ちた。

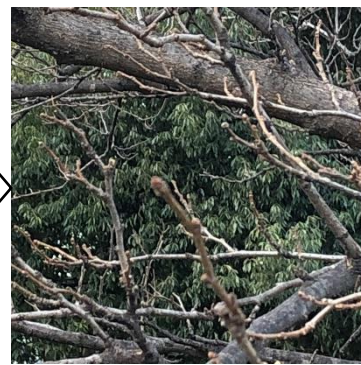


ヤマグワの体の中に何らかの変化が起きた。

先生にはヤマグワが「さあ、冬の準備をするぞ」と言っているように聞こえた。はっぱを落として、体の中に栄養を蓄えようとしているのではないだろうか。



〔12月1日〕



〔3月15日〕

そして、今、ヤマグワはどうなっているか。昨日の3月15日に近づいてみると少し芽をふくらませている。

先生にはヤマグワが「さあ、春の準備をするぞ」と言っているように聞こえた。

皆さんは何が聞こえただろうか。

皆さんは気にもとめていないかもしれない。名もない木だと思っていたかもしれない。でも、生き物はその場所で、名もなく、注目されるわけでもなく、たくましく生きている。わたしたちもコロナの中をたくましく生きている。

1-1 アサガオを育てることでアサガオも生きている、私たちも生きている、そこにいっしょだねという思いがかさなったのではないだろうか。

1-2 言葉とは何か。一つの言葉でも発する人の思いや受け取る人の思いに違いがある。言葉はあなたそのものでもある。

2-1 スーホの白い馬で、死んでしまった白い馬をめぐるの深い学び。それはトカちゃんたちとの生活のたまものなのではないだろうか。

2-2 よつばちゃんたちと生活していて、たくましくなった皆さん。1組さんも2組さんもトカちゃん、トットとララやよつばちゃんやしゅん君のお家の引っ越しがあるね。けがのないように気をつけてね。



3-1 生まれてきてくれたいのち、心生（ここな）ちゃん。慈しむ気持ちと同時に、自分たちの世話についても振り返らざるをえない思いが生じたのでは。いのちについて一層深く学んだのではないだろうか。

3-2 ピザを上手につくることから、本当のピザづくりに目が向いた皆さん。世の中にある本物の厳しさや奥深さにふれることができたことでしょう。

4-1 紙づくりしている皆さん、身近にあふれている紙、湯水のように私たちは紙を使い、丸めて捨てていませんか。本物の紙はどのようにしてつくられているか、探してみよう。

4-2 実際に野焼きを行ってみてどうだっただろうか。やってみて分かることもあるし、更に疑問が生まれてきたのではないだろうか。この活動がどこに向かっていくのか楽しみにしている。



5-1 竹とんぼ記録会は どうだったか。皆さんの探究はどこにつながっていくのか。竹か、飛

ぶ仕組み・力学か。とことんやった先に世界の最先端がみえてくるかもしれない。

5-2 木。大きなくくりですが、私たちの生活は間違いなく木と共にある。そのことで生業を立てている方々と出会いながら、今取り組んでいることがどこに向かおうとしているのかそれがとても楽しみにしている。

6-1 多様性を尊重しようというスローガンがちっぽけなものに感じるほど、皆さんがしていたこと、感じ取っていたことは尊く気高い。しかし、それは取り立てれば取り立てるほどに価値を失ってしまうようなはかなさをも持ち合わせているように私には感じる。人知れずというヤマグワに通ずる。

6-2 3/4。クロムブックを駆使してまとめた「昼休みを再開することのお願い」を携えての先生方の会議への訪問。緊張しながらも、代表者4名が力を尽くして思いや考えを述べてくれた。学校づくりに直接参画してくれてとても嬉しかった。



わたしたち人間ははるか昔からこうした感染症を大変恐れてきた。それは、目には見えなくても、人々をむしばみ、そのせいで、病気になり、中には死んでしまう人も出てきて、「何がそうさせるのかはよくわからないが、何かがある」という感覚、それにかかっていると大変だという思いがあり、そういうことがずっとずっと続いている。こんなに文明が進んだ現代社会においてもなお、「わからなさ」はまだまだあり、だれもが不安に抱くのはいたしかたない。そんな中であって、わたしたちは自分たちにできることを精一杯取り組んできた。

- 感染予防、新型コロナウイルス感染症にかからないようにすること。
- 学びを続ける工夫。
- 感謝と思いやりの生活

そして、自分の成長を、あなた自身がどう感じているか

感謝の心が育った                      思いやりの心が育った  
友だちといっしょに協力して行こう楽しさが大きくなった  
友だちのことをもっと好きになった  
できないことができるようになった  
わからないことがわかるようになった  
自分らしさに気づいた                      好きなことが見つかった  
自分の弱点を見つけた                      苦手なことに気づいた  
苦手だと思っていたけど今はちがう  
自分の意外な才能に気づいた                      夢中になって取り組めた                      など

探究の旅は始まったばかりだ。  
明日は卒業式、そして、春休みへ

明日は6年生が本校を卒業する日。それぞれのところがまえを。  
春休み、けがのないよう、事故のないよう、気をつけてすごして下さい。  
5年生の皆さん、新年度準備ありがとう。  
皆さん、元気に新年度をむかえてください。

1年間、ありがとうございました。以上で、私からの話を終わります。

\*\*\*\*\*

## <年度末の人事異動のお知らせ>

《 転退任される先生方 》	《本校在職》	《 転出先 》
塚本麻衣子 先生 (1年2組担任)	1年	飯綱町立三水小学校
小田切 亮 先生 (3年1組担任)	3年	伊那市立伊那北小学校
関 浩司 先生 (6年1組担任)	7年	長野県教育委員会スポーツ課
竹内 克紘 先生 (6年2組担任)	3年	佐久市立野沢中学校
渡邊 玲菜 先生 (音楽専科)	3年	飯田市立竜丘小学校
畔上 和也 先生 (外国語専科)	1年	千曲市立上山田小学校
齊藤 七夏 先生 (音楽専科)	2年	長野県立飯山高等学校
川西 量子 先生 (家庭科専科)	1年	愛知県南知多町立篠島小学校
米持 進 先生 (事務・庁務)	1年	信州大学教育学部附属長野中学校
岡部明日香 先生 (給食調理員)	1年	退職

## <学校からのお知らせ>

### (1) 春休みについて

明日から春やすみになります。日に日に温かくなり、外での活動も増えるかと思  
います。交通安全、けがなど十分注意して過ごすようにお願いします。

### (2) 4月の予定について

- ① 授業参観ならびにPTA総会は16日(金)を予定しています。例年は、午前  
に授業参観、PTA総会などを行い、午後に学級懇談会、PTA歓迎会を行って  
いますが、来年度はすべてを午前で開催する予定です。そのため、当日は給食を食  
べずに下校となります。日程等詳細については新年度にお伝えします。
- ② 20日(火)の午後、GIGAスクールにかかわる、保護者を対象とした講演会を  
実施いたします。タブレットPCを活用した取組が本格実施となる初年度とな  
りますので、ご都合つく保護者の方は、ぜひご参加ください。なお、案内につい  
ては年度当初に配布いたします。

1年間、10回にわたり、副校長講話の内容、子どもたちの様子、お知らせなど掲載してき  
ました。附属長野小の学校だより『途上』は次年度も継続して発行いたします。1年間、あ  
りありがとうございました。

=== “おわり” とは はじまりの合図 ===